

日立電子編集制御装置

ECS-230



放送局を始めとするENG、EFP等のニュース取材、ビデオ制作におけるVTRテープ編集作業は、従来から極めて複雑な手間のかかる作業でした。このたび、長年VTRおよびそのシステムを手がけてきた当社が、その実績とノウハウを生かして編集作業の悩みを解決する、電子編集制御装置を開発いたしました。

既 要

本装置は2台のVTRを制御して電子編集を行うもので、制御はマイクロコンピュータを使用し、テープタイマデータ(またはSMPTEコード)を利用してボタン操作のみで編集点の決定、プレビュー、編集、レビュー等、一連の編集作業が容易に行えるよう考慮してあります。

編集機能

- (1)アセンブルおよびインサート編集が可能。
- (2)映像音声は、それぞれ単独または同時編集可能。
- (3)テープアドレスはSMPTEコード、またはテープタイマデータを 使用。
- (4)編集点はPB、REC VTRのカットイン点およびいずれかのカットアウト点計3点、または同じく両カットイン点と継続時間長(DT)を使用する。(インサート編集時)

(5)プレビュー、エディット、レビューの各動作は、1カットずつ 自動的に行う。

その他

- (1)マニュアル操作により各VTRのプレイ、シャトル/ジョグ(2イン ンチVTRについてはFF/RWD) ストップのリモート制御が 可能。
- (2)編集点はキューボタンによる。また、ファンクションキーにより アドレスデータのセットおよびシフト修正(+、一)が可能。

オプション

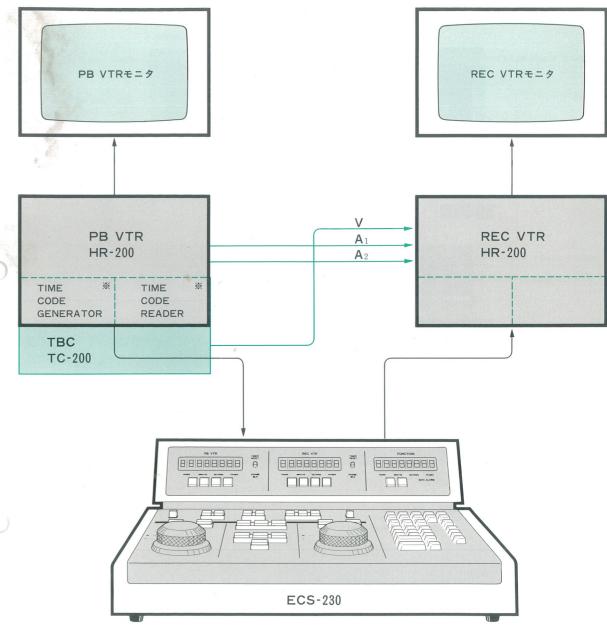
本装置はVTR CMの1本化編集にも使用できます。その時は編集時1本化テープ上に頭出し用信号を記録するための制御パルスを自動的に送り出します。

機 能 • 特 長

- ●マイクロプロセッサによる処理
- ●REC VTRの調相機能
- ●独立したPLAY、SHUTTLE、JOG機能
- ●PB、REC VTRの同時頭出し
- ●編集点決定は、テープ速度1倍以下で画面を見ながら可能
- ●TIME CODEによる編集
- ●キーボードから編集点のエントリー
- ●キーボードからのCUE SHIFT
- ●PREVIEWによる編集リハーサル
- ●REPLAYによる編集結果の確認

- ●編集後、ENDボタンでPB、REC VTR同時停止
- ●PREROLL時間は、5秒、10秒
- ●IN TIME、OUT TIME、LAP TIME、TOTAL TIME の表示
- ●MEMO KEYにより、一時記憶のデータを読み出し、入力・変 更・修正が可能
- ●DURATION TIMEはキーボードからエントリー
- ●誤ったDATAが入力されると、DATA ALARMランプが点滅
- ●INTERLOCKスイッチで、外部機器との接続編集が可能

ブロックダイアグラム



※VCM一本化時に必要

定

格

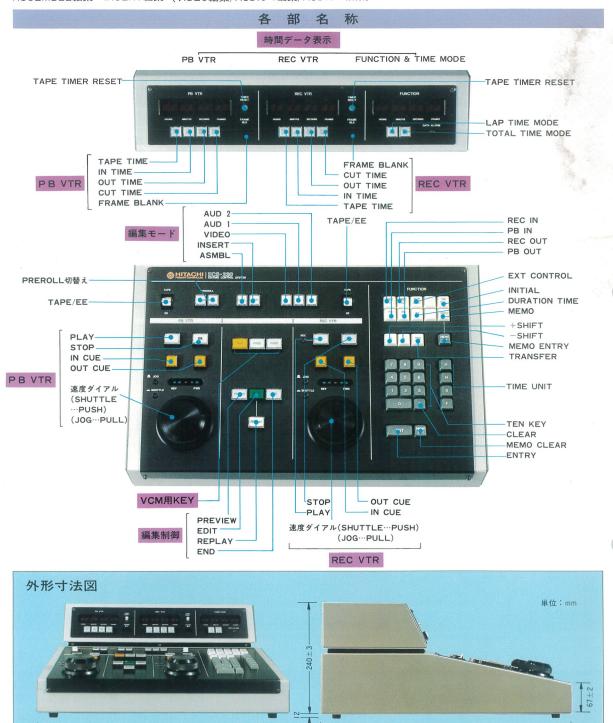
1.入力信号

- (1)SMPTEコードまたはテープタイマデータ
- (2)VTRタリー信号——STOP、PLAY、REC、SHUTTLE、 JOG(FF RWD)他

2. 出力信号

- (1)編集制御(REC VTRのみ)—EDIT MODE、EDIT COM-MAND、ASSEMBLE/INSERT(VIDEO、AUDIO-1、2)
- (2)VTR $\mathcal{I} \in \mathbb{R}$ $\mathcal{I} = \mathbb{R}$ $\mathcal{I} = \mathbb{R}$ STOP、PLAY、REC、
- SHUTTLE、JOG(FF RWD)他
- 3.編集精度 ±1フレーム4.周囲温度 5~40°C
- 5.使用電源 AC100V±5% 50/60Hz
- 6.外形寸法 500(W)×543(D)×252(H)mm
- 7.重 量 19kg

ASSEMBLE編集 INSERT編集 (VIDEO編集/AUDIO-I編集/AUDIO-2編集)



日立電子株式会社

本 社 〒101 東京都千代田区神田須田町1 23 2(大木須田町ビル) 電話(03)255 8411

500±3-

●仕様および外観は改良のため変更することがあります。

-543±3-